

お知らせ

令和8年度栗原市職員採用試験

社会人経験者(高校卒業程度)

採用職種・採用人数

行政 5人程度

建築 数人程度

土木 数人程度

受験資格

行政職

昭和62年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人

建築、土木職

昭和57年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人

※職務経験は、試験案内で確認してください。

申込期限・第1次試験日

市役所敷地内掲示板と市ウェブサイトでお知らせします。

上級・中級

第1次試験日 7月12日(日)

試験会場 市役所

※会場は変更する場合があります。

採用職種・採用人数

行政 5人程度

保健師 数人程度

学芸員 数人程度

保育士・幼稚園教諭 数人程度

宮城県内市町村合同就職セミナー

県内市町村職員を目指す人を対象に、就職セミナーが開かれます。

日時 5月13日(水) 午前9時50分〜午後3時20分

〒987-2203 栗原市築館薬師一丁目7番1号

☎(22)1159

司書(行政) 数人程度

試験案内などの配布 市役所敷地内掲示板と市ウェブサイトでお知らせします。

また、試験案内と申込書は、問い合わせ先と申込書は、問い合わせ先と各総合支所市民サービス課で配布します。

共通事項

申し込み 市ウェブサイト専用フォームから電子申請または申込書に必要事項を記入の上、問い合わせ先に持参または、郵送で申し込みください。

試験方法 第1次試験、第2次試験があります。第2次試験は、第1次試験の合格者を対象に行います。

※受験資格など詳しくは、試験案内または、市ウェブサイトを確認するか、問い合わせください。

総務部人事課

〒987-2203

栗原市築館薬師一丁目7番1号

☎(22)1159

空き家バンク制度で空き家を活用

市では、市内の空き家を有効活用するため、住まいる栗原ホームサーチ事業(空き家バンク制度)を実施しています。

これは、空き家の所有者からの情報を、空き家を買いたい、または、借りたい人に紹介するものです。

空き家の所有者や活用したい人は、この機会にぜひ、登録してください。

申し込み 定住戦略室、各総合支所市民サービス課に備え付けの申請書に必要事項を記入の上、提出書類を添えて申し込みください。

※空き家の状況によっては、登録できない場合があります。

☎(22)1125

住まいる栗原空き家リフォーム助成

住まいる栗原ホームサーチ事業(空き家バンク制度)を利用して空き家を取得または、3年以上の賃貸をした転入者に対し、リフォーム工事を助成します。

※転入者とは、助成金交付申請日時点で、転入から3年未満の人です。

宮城県内市町村合同就職セミナー

県内市町村職員を目指す人を対象に、就職セミナーが開かれます。

日時 5月13日(水) 午前9時50分〜午後3時20分

〒987-2203 栗原市築館薬師一丁目7番1号

☎(22)1159

農作業安全の確認運動期間

6月30日まで

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

農作業時は、次のことに注意し、心にゆとりを持った作業で事故をなくしましょう。

市内の文化財散策

高清水城跡発掘調査の概要

高清水城跡は高清水地区東館、桜丁に所在する中世から近世の城館遺跡です。寛政年間(1789〜1801年)に書かれた『高清水拾遺志』には、高泉直堅が天文年間(1532〜1555年)に築城したと記されています。その後、慶長9(1604)年に巨理重宗が高清水の地を治め、宝暦7(1757)年に石母田興頼の居所となりました。貞享4(1687)年以降、高清水城は高清水要害と呼ばれ、明治維新まで城に次ぐ仙台藩領の軍事的な拠点でした。江戸時代に描かれた絵図を見ると、水堀と土塁が巡っており、門や櫓などの施設が描かれています。明治6(1873)年に石母田氏の邸宅の一部を利用して小学校が開校し、昭和22(1947)年には小学校の校舎の一部を利用して中学校が開校しました。

高清水城跡では、これまで各種工事に伴って、発掘調査を行っています。今回は公園整備のための発掘調査を令和7年8月から令和8年1月まで実施し、絵図に描かれている近世高清水要害の本丸(居所)の堀跡2条、絵図面に描かれていない大溝跡1条を確認しました。主な出土遺物は中世の陶器片、近世の陶磁器片、学校関係の遺物として硯が出土し、持ち主と思われる名前が刻まれたものもありました。発掘調査により、近世高清水要害における本丸(居所)の規模が徐々に明らかになってきました。

※高清水の農夫によって書かれた歴史書

教育部文化財保護課

☎(42)3515

清水城跡は高清水地区東館、桜丁に所在する中世から近世の城館遺跡です。寛政年間(1789〜1801年)に書かれた『高清水拾遺志』には、高泉直堅が天文年間(1532〜1555年)に築城したと記されています。その後、慶長9(1604)年に巨理重宗が高清水の地を治め、宝暦7(1757)年に石母田興頼の居所となりました。貞享4(1687)年以降、高清水城は高清水要害と呼ばれ、明治維新まで城に次ぐ仙台藩領の軍事的な拠点でした。江戸時代に描かれた絵図を見ると、水堀と土塁が巡っており、門や櫓などの施設が描かれています。明治6(1873)年に石母田氏の邸宅の一部を利用して小学校が開校し、昭和22(1947)年には小学校の校舎の一部を利用して中学校が開校しました。

高清水城跡では、これまで各種工事に伴って、発掘調査を行っています。今回は公園整備のための発掘調査を令和7年8月から令和8年1月まで実施し、絵図に描かれている近世高清水要害の本丸(居所)の堀跡2条、絵図面に描かれていない大溝跡1条を確認しました。主な出土遺物は中世の陶器片、近世の陶磁器片、学校関係の遺物として硯が出土し、持ち主と思われる名前が刻まれたものもありました。発掘調査により、近世高清水要害における本丸(居所)の規模が徐々に明らかになってきました。

※高清水の農夫によって書かれた歴史書

教育部文化財保護課

☎(42)3515

清水城跡は高清水地区東館、桜丁に所在する中世から近世の城館遺跡です。寛政年間(1789〜1801年)に書かれた『高清水拾遺志』には、高泉直堅が天文年間(1532〜1555年)に築城したと記されています。その後、慶長9(1604)年に巨理重宗が高清水の地を治め、宝暦7(1757)年に石母田興頼の居所となりました。貞享4(1687)年以降、高清水城は高清水要害と呼ばれ、明治維新まで城に次ぐ仙台藩領の軍事的な拠点でした。江戸時代に描かれた絵図を見ると、水堀と土塁が巡っており、門や櫓などの施設が描かれています。明治6(1873)年に石母田氏の邸宅の一部を利用して小学校が開校し、昭和22(1947)年には小学校の校舎の一部を利用して中学校が開校しました。

高清水城跡では、これまで各種工事に伴って、発掘調査を行っています。今回は公園整備のための発掘調査を令和7年8月から令和8年1月まで実施し、絵図に描かれている近世高清水要害の本丸(居所)の堀跡2条、絵図面に描かれていない大溝跡1条を確認しました。主な出土遺物は中世の陶器片、近世の陶磁器片、学校関係の遺物として硯が出土し、持ち主と思われる名前が刻まれたものもありました。発掘調査により、近世高清水要害における本丸(居所)の規模が徐々に明らかになってきました。

※高清水の農夫によって書かれた歴史書

教育部文化財保護課

☎(42)3515

清水城跡は高清水地区東館、桜丁に所在する中世から近世の城館遺跡です。寛政年間(1789〜1801年)に書かれた『高清水拾遺志』には、高泉直堅が天文年間(1532〜1555年)に築城したと記されています。その後、慶長9(1604)年に巨理重宗が高清水の地を治め、宝暦7(1757)年に石母田興頼の居所となりました。貞享4(1687)年以降、高清水城は高清水要害と呼ばれ、明治維新まで城に次ぐ仙台藩領の軍事的な拠点でした。江戸時代に描かれた絵図を見ると、水堀と土塁が巡っており、門や櫓などの施設が描かれています。明治6(1873)年に石母田氏の邸宅の一部を利用して小学校が開校し、昭和22(1947)年には小学校の校舎の一部を利用して中学校が開校しました。

高清水城跡では、これまで各種工事に伴って、発掘調査を行っています。今回は公園整備のための発掘調査を令和7年8月から令和8年1月まで実施し、絵図に描かれている近世高清水要害の本丸(居所)の堀跡2条、絵図面に描かれていない大溝跡1条を確認しました。主な出土遺物は中世の陶器片、近世の陶磁器片、学校関係の遺物として硯が出土し、持ち主と思われる名前が刻まれたものもありました。発掘調査により、近世高清水要害における本丸(居所)の規模が徐々に明らかになってきました。

※高清水の農夫によって書かれた歴史書

教育部文化財保護課

☎(42)3515



▲大溝跡



市長随感

栗原市長 佐藤 智

新たな風が運ぶ希望の春

桜の花が咲き誇った季節から、新緑がまぶしい季節へと移り変わるうとしていきます。柔らかな春の風に包まれながら、自然の息吹を感じるこの頃、市内の風景もまた新たな表情を見せ始めています。市役所でも新たな体制で、まちづくりをスタートしました。今年度は、41人の新規採用職員を迎え、職員一同、気持ちを新たに本年度の業務に取り組んでいます。私自身も、初めて町役場に足を踏み入れたときのことを思い出し、胸が熱くなりました。若い力が加わることで、市政の運営に新しい風が吹き込まれることを、心からうれしく思います。新規採用職員には、これからの栗原市の未来を一緒に作り上げる力となることを期待します。

